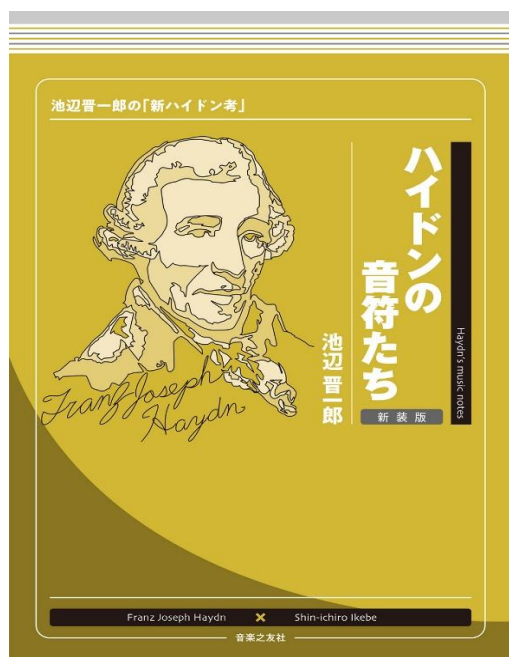


ハイドンの音符たち 新装版

池辺晋一郎の「新ハイドン考」



「衰えることを知らなかった創作意欲」——
大作曲家たちの“すごさ”“素晴らしさ”が楽しくわかる！ すべての
クラシック音楽ファン座右の書、日本クラシック音楽界の重鎮・池辺
晋一郎の代表作『音符たち』シリーズ。バッハ、モーツァルト、ベ
ートヴェン、ブラームス、ドヴォルザーク、チャイコフスキー、シューベ
ルト、メンデルスゾーン、シューマンに続き、ハイドンが刊行、これに
て新装版化完結!!
「こむずかしそうな学者的解説やアナリーゼは避け、名曲の楽譜に並
んだ“音符たち”の、いわば『行間』から裏側をのぞき、そこからオッ
と思える芽を見つけ、摘み取り、いじくりまわしてみる——それらを
『同業者』として作曲家の立場で行う」という同シリーズのコンセプト
のもと、著者に「自由闊達」「規則にも縛られない」と言わしめるハイ
ドンが創り上げた名曲の名曲たるゆえんを、クラヴィア曲、室内楽
から交響曲、「天地創造」などのオラトリオまで、軽妙洒脱な筆致で
説き明かす。

■目次■

序文
はじめに
第1章：早くも貴かれた個性！——弦楽四重奏曲 作品1
第2章：工夫に満ちた晩年の傑作——トランペット協奏曲
第3章：ユニークなフレーズの構築——協奏交響曲 変ロ長調
第4章：1人で3つの家の父！——クラヴィア・ソナタ集
第5章：規則が何だ！ 私が規則です——交響曲 その1
第6章：シンフォニックで気宇壮大——ミサを3曲
第7章：「4大」のうちの2つ！——2つのチェロ協奏曲
第8章：当時の人気を想てみます——歌曲いくつか
第9章：揺り籠の中のスケルツォ——弦楽四重奏曲 作品33
第10章：ヘンデルに負けじ！——オラトリオ《四季》
第11章：作曲は嵐の夜のごとし……——交響曲《朝》《昼》《晩》
第12章：どんな時も真摯な創作姿勢——ロンドン・トリオ
第13章：喜劇への大真面目なアプローチ——オペラ《月の世界》
第14章：作曲しつつほくそ笑んだかな？——協奏曲3つ
第15章：やりたい放題、怖いものなし——交響曲第76、90番
第16章：幻想？ 奇想？ どちらでも……——「幻想曲」〜クラヴィアののための
第17章：ホルンの完成を先取り——ホルン協奏曲
第18章：時代と時代とに橋をかけた作曲家——クラヴィア・トリオ
第19章：時代を超えたユニークさ——弦楽四重奏曲《ひばり》ほか
第20章：充実の主題作り——《V字》と《オックスフォード》
第21章：すべてのページに自信があふれ……——《十字架上のキリストの最後の7
つの言葉》
第22章：晩年。だが進取の心——ザロモン・セット第1期から
第23章：200年を隔てて今も刺激的！——ザロモン・セット第2期
第24章：音楽史上稀有な作曲家——オラトリオ《天地創造》

判型： A5判 ページ：184頁
定価 2,310 円 (本体 2100 円+税10%)
ISBN978-4-276- 20270-2

■著者プロフィール■

池辺晋一郎(イケベ シンイチロウ)

1971年東京藝術大学大学院修了。安宅賞、日本音楽コンク
ール第1位、音楽之友社室内楽曲作曲懸賞第1位、ザルツブルク
TVオペラ祭優秀賞、イタリア放送協会賞、国際エミー賞、芸術
祭優秀賞、日本アカデミー賞最優秀音楽賞など多数受賞。18
年文化功労者として顕彰。東京音楽大学名誉教授。交響曲、オ
ペラ、室内楽曲、合唱曲などのほか映画「影武者」「檜山節考」、
TV「八代将軍吉宗」など映画・ドラマ・演劇の音楽も約500本
手がける。



BOOKCELLAR のご注文も可能です。PC・スマホからいつでもご注文いただけますご利用ください。

(貴店名・帳合)	(注文)	新 刊 ! ハイドンの音符たち 新装版 池辺晋一郎の「新ハイドン考」 A5判 ・ 184頁 ISBN978-4-276-20270-2 定 価 2,310 円 (本体 2100 円+税10%)
-----------------	-------------	--